

<b>公益財団法人京都市国際交流協会</b>	<b>令和4年度経営計画 兼 経営努力結果</b>
------------------------	-------------------------------

**基本事項**

<b>所管局課</b>	総合企画局国際交流・共生推進室	<b>本市出えん金</b>	100,000 千円
<b>基本財産/資本金</b>	100,000 千円	<b>本市出えん率</b>	100.0 %

**当年度の運営方針**

<b>業務面</b>	<p>目標1 「外国籍市民等が安心して暮らせる環境整備」 外国籍市民等を対象にした相談事業の実施を通して、外国籍市民が地域の一員として京都市で生活し、社会に参加するための環境整備の充実を図る。コロナ禍において、外国籍市民の生活課題はより広範囲かつ深刻化するケースも増えており、電話通訳や相談対応の中で、速やかに必要なところにつなぐ必要があるため、公的機関との連携をより強化するとともに、情報提供や相談対応にあたり問題解決につなげる。</p> <p>目標2 「京都の国際交流拠点としての取組」 姉妹都市については、図書資料を含む既存資料の紹介等を通して引き続き市民への周知を図る。世界歴史都市連盟のPRについては、加盟都市を持つ国を紹介する絵本展等の開催を引き続き行う。 また、ロシアによる軍事侵攻の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキーウをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携した取組を行っていく。</p> <p>目標3 「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」 コロナ禍で多くの制限はあるが、ボランティア活動を維持継続し、「ボランティアオリエンテーション」にて新たな人材を募集するとともに、研修を実施し、担い手育成につなげる。 また、企業等とのコラボレーション事業については、社会状況等の変化により、継続してきたイベントの実施が難しくなっているが、引き続き共催事業者を募集し実施していく。</p>
<b>財務面</b>	<p>目標1 「補助金等の確保」 近畿地域国際化協会連絡協議会や文化庁の補助金を申請し収入確保のための努力を続ける。</p> <p>目標2 「寄付金の確保」 「国際交流活動応援企業・団体」登録制度の継続と寄付金のクレジット決済ができることや税額控除対象団体であることをWebでPRし、増収につながるよう努める。府民税・市民税控除団体であることもPRし、個人からの更なる寄付につなげる。オープンデイ等大きなイベントへの寄付の呼びかけや寄付月間等を実施し寄付対象者を広げるためのキャンペーンを行う。</p> <p>上記のような自主財源確保に加え、人件費の削減など歳出面の見直しを行うことにより、収支改善に努めていく。</p>
<b>組織面</b>	<p>目標1 「職員の能力向上」 新たに採用した職員に対し、外郭団体職員としての能力向上のために、京都市が開催する職員研修や民間が実施するZOOMセミナー等に積極的に参加する。 限られた人数による効率的な運営を目指して、有料無料を問わず職員の研修派遣回数を増やし、職員の能力向上を図る。</p> <p>目標2 「職員の意識向上」 職員間で、コンプライアンス等の勉強会を実施する。</p>

主要財務数値

(単位:千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考欄
	予算	実績	予算	見込	予算	実績(※)	
経常収益	294,153	284,710	284,619	275,977	262,740		
経常費用	310,217	272,515	312,603	287,108	283,964		
当期経常増減額	△ 16,064	12,195	△ 27,984	△ 11,131	△ 21,224		
当期正味財産増減額	△ 16,144	12,125	△ 28,064	△ 11,201	△ 21,304		
資産合計	-	368,110	-		-		
負債合計	-	119,415	-		-		
正味財産	-	248,695	-		-		
うち累積損益額	-	148,695	-		-		

京都市の人的支援・財政的支援

(単位:千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考欄
	予算	実績	予算	見込	予算	実績(※)	
補助金額		12,603		11,824	0		外国人留学生国保料
派遣職員数		0人		0人	0人		
貸付金残高		0		0	0		年度末残高(見込)

当年度の取組目標に対する総括(※)

団体	
所管局	

(1)業務に関する取組

目標1「外国籍市民等が安心して暮らせる環境整備」

当年度目標	外国籍市民等を対象にした相談事業の実施を通して、外国籍市民が地域の一員として京都市で生活し、社会に参加するための環境整備の充実を図る。コロナ禍において、外国籍市民の生活課題はより広範囲かつ深刻化するケースも増えており、電話通訳や相談対応の中で、速やかに必要となる場所につなぐ必要があるため、公的機関との連携をより強化するとともに、情報提供や相談対応にあたり問題解決につなげる。
当年度結果(※)	

指標1	「相談事業」の対応件数 (単位:件)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
		8,571		5,763	6,000	4,200	5,000	

指標2	近畿地域国際化協会との「防災研究会」等の開催件数 (単位:件)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	5	5	5	5	5	5	5	

目標2「京都の国際交流拠点としての取組」

当年度目標	姉妹都市については、図書資料を含む既存資料の紹介等を通して引き続き市民への周知を図る。世界歴史都市連盟のPRについては、加盟都市を持つ国を紹介する絵本展等の開催を引き続き行う。 また、ロシアによる軍事侵攻の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキーウをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携した取組を行っていく。
当年度結果(※)	

指標1	姉妹都市関連事業や世界歴史都市連盟のPR活動の実施回数 (単位：回)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	5	6	5	3	5	6	5	

目標3「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」

当年度目標	コロナ禍で多くの制限はあるが、ボランティア活動を維持継続し、「ボランティアオリエンテーション」にて新たな人材を募集するとともに、研修を実施し、担い手育成につなげる。 また、企業等とのコラボレーション事業については、社会状況等の変化により、継続してきたイベントの実施が難しくなっているが、引き続き共催事業者を募集し実施していく。
当年度結果(※)	

指標1	登録ボランティア主催イベント開催回数 (単位：回)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	2,860	2,301	2,430	1,780	1,800	1,540	1,800	

指標2	企業等とのコラボレーション事業開催件数 (単位：件)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	10	7	7	5	7	2	6	

(2)財務に関する取組

目標1「補助金等の確保」

当年度目標	近畿地域国際化協会連絡協議会や文化庁の補助金を申請し収入確保のための努力を続ける。
当年度結果(※)	

指標	補助金の確保 (単位：千円)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	18,000	27,657	19,000	21,000	23,377	21,932	10,000	

目標2「寄付金の確保」

当年度目標	「国際交流活動応援企業・団体」登録制度の継続と寄付金のクレジット決済ができることや税額控除対象団体であることをWebでPRし、増収につながるように努める。府民税・市民税控除団体であることもPRし、個人からの更なる寄付につなげる。オープンデイ等大きなイベントへの寄付の呼びかけや寄付月間等を実施し寄付対象者を広げるためのキャンペーンを行う。
当年度結果(※)	

指標	寄付金の確保 (単位：千円)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	1,450	1,943	2,000	3,000	3,150	2,761	3,150	

(3)組織に関する取組

目標1「職員の能力向上」

当年度目標	新たに採用した職員に対し、外郭団体職員としての能力向上のために、京都市が開催する職員研修や民間が実施するZOOMセミナー等に積極的に参加する。 限られた人数による効率的な運営を目指して、有料無料を問わず職員の研修派遣回数を増やし、職員の能力向上を図る。
当年度結果(※)	

指標	職員研修派遣回数 (単位：回)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	31	28	29	29	31	25	28	

目標2「職員の意識向上」

当年度目標	職員間で、コンプライアンス等の勉強会を実施する。
当年度結果(※)	

指標	勉強会の実施回数 (単位：回)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	3	3	4	2	3	2	3	